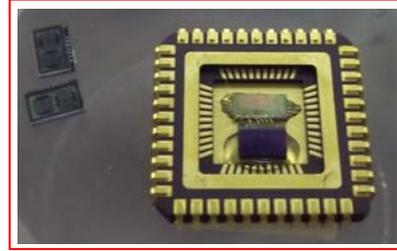
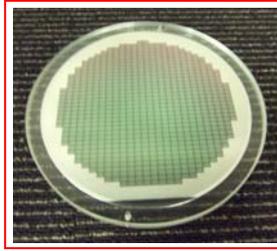
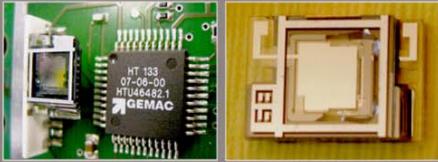


センサーシステム

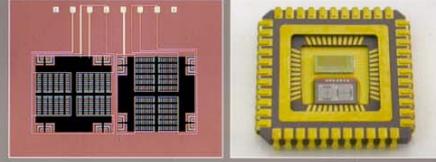


統合傾斜センサーシステム



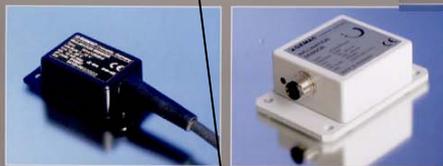
i マイクロマシン統合傾斜センサーシステムは加速度センサーの原理に基づいており、60°までの様々な計測範囲で0.1°以上の解像度を提供します。このセンサーはGEMAC Chemnitz社とCenter of Microtechnologiesの協力により開発されました。ごく最近、ガラス-シリコン-ガラス複合材料のプロトタイプ工場がケムニッツに設立されました。統合傾斜センサーシステムは医療用車両の角度制御、2軸位置検出などに応用されています。

慣性センサーシステム用 バルクおよび表面マイクロマシン加工



i さらにフラウンホーファーIZMケムニッツ支部では、具体的な応用事例に要求される精度、ならびにAIMテクノロジーなど一般的な仕様を満たすため、バルクおよび表面のマイクロマシン加工に基づき加速度センサーの開発を行っています。

傾斜センサー サンプル



i 本技術の開発成果を基にGEMAC社は、CANバスなど業界標準のインタフェースを装備した、ユニット化された統合傾斜センサーを実用化し、商業目的に活用しています。センサーシステムは堅牢な工業用ハウジングにパッケージングされ、生産自動化、ユーティリティビークル、昇降プラットフォーム、クレーン、農業用機械など過酷な環境での利用が考慮されています。

Fraunhofer
IZM
Institut
Zuverlässigkeit und
Mikrointegration

Contact: Harald Poetter | harald.poetter@izm.fraunhofer.de | +49 30 464 03 136

